



## まちが光につつまれる

第5回今福和一処祭り「福フク・キラ☆・Happy Day」

第5回今福和一処祭り「福フク・キラ☆・Happy Day」のイルミネーション点灯イベントが12月9日、今福大川お祭り広場で開催されました。

今福和一処祭りは、まちを元気づけるために松浦商工会議所今福支部が主体となって実施しているもので、毎年趣向を凝らしたイベントが企画されています。

当日は、今福ぜんざいの無料配布や獅子舞の演舞、ステージショーなども行われ、訪れた人たちは、青と白の光に包まれた幻想的な空間をゆっくり眺めたり、写真を撮ったりしながら、思い思いに楽しく心あたたまるひと時を過ごしていました。



## 交通安全の決意を新たに

御厨中学校交通安全集会

12月20日、御厨中学校で交通安全集会が行われ、全校生徒183人が交通安全宣言を行い交通事故防止の決意を新たにしました。

この日は、松浦警察署、松浦地区交通安全協会、松浦地区連合防犯協会、松浦市少年補導員連絡会などの関係者らが、交通安全のための心がけなどを話し、生徒たちは自分の命と周りの命を守ることにについて改めて考えました。

冬場は日が暮れるのが早く、年末年始は交通量が多くなるため、交通事故が発生しやすくなります。思わぬ事件や事故に巻き込まれない、もしくは起こさないよう、生徒たちは力強く宣言し、交通安全の意識を高めました。



## 快挙になぎなたのまち沸く

第17回全日本男子なぎなた選手権大会

第17回全日本男子なぎなた選手権大会が12月2日、浦安市運動公園総合体育館（千葉県）で開催され、松浦高校なぎなた部顧問の板垣勇さんが優勝を果たし、5度目の全国制覇達成という快挙を成し遂げました。

後進の指導育成に専念されていたため、6年ぶりの出場となりましたが、大会を振り返り、日頃の鍛錬の積み重ねと長年の経験が活き、相手の動きがよく見えたと言因を分析されました。

板垣さんは、「生徒や周りの応援が励みになった。なぎなたのまち松浦で日本一になれたことが嬉しい。この経験を今後の指導に活かしていきたい」と喜びを語りました。



## 五穀豊穡を願って

木太刀の舞

御厨町寺ノ尾地区にある八幡神社（森川典幸宮司）で12月15日、木太刀の舞が奉納されました。

この舞は、同神社の例大祭で奉納される神楽の一つ。イタビの木で作られた太刀を担いで鈴を片手に舞う神楽で、太刀が大きいほど翌年は豊作になるという言い伝えがあり江戸時代から続く伝統行事です。

氏子の田中祐毅さんが手彫りで製作した木太刀は、長さ約1.3m、重さ20kg。今福神社の早田伸次宮司が太刀を担ぎ、笛と太鼓に合わせて舞を奉納し、集まった地区の住民たちは、来年の地区の安全と五穀豊穡を祈願しました。





## 霊を慰め、絆を深める

佐々木祭

志佐町池成地区に約 370 年前から伝わる佐々木様の霊を慰める伝統行事「佐々木祭」が 12 月 24 日、同地区の石井寛男さん宅で行われました。

佐々木様は、この地域を治めていた平戸藩士で、参勤交代の留守中に妻の不義の噂を耳にし、大酒を飲むようになり亡くなったという故事が残されています。「佐々木祭」は、佐々木様に仕えた家臣の子孫が命日といわれる 12 月 24 日に集まって大杯で酒を飲む習わしで、家臣の子孫にあたる同地区 5 世帯が毎年持ち回りで開催しています。

この日集まった人たちは、酒 1 升を大杯で回し飲みしながら霊を慰め親睦を深めました。



## 感謝の気持ちを込めて

今福少年ソフトボールクラブ

今福少年ソフトボールクラブ（部員 8 人）が 12 月 29 日、今福神社の境内を清掃しました。

同クラブは、毎年初めに同神社に必勝祈願に訪れており、そのお礼に感謝の気持ちを込めて毎年この時期に清掃を行っています。

この日は、部員や保護者らが約 1 時間かけて竹ぼうきや熊手で落ち葉などを集めました。

鶴田一<sup>いっさ</sup>主将は、「きれいになったのを見ると嬉しくなるし、自分たちがきれいにしたことで来た人が気持ちよく過ごせれば嬉しい。6 年生は卒業するけど、チームには部員を増やして、これからも仲良く頑張してほしい」と話しました。



## 本をもっと好きになろう！

クリスマスおはなし会

おはなしの会ポケット（三木和枝代表）が主催するクリスマスおはなし会が 12 月 17 日、生涯学習センターきらきら 21 で開催されました。

このおはなし会は、本の楽しさを知ってもらおうと平成 9 年から実施されており、21 年目を迎えました。

当日は親子連れなど約 150 人が参加。ポケットによるペープサート「ぶんぶくちゃがま」や絵本の読み聞かせ、ゲストのどれみクラブによるオペレッタ「夜だけ魔法使い」や歌「アナと雪の女王」などが披露され、みんなで楽しいひとときを過ごしました。



## 福をもたらす縁起物

松浦市シルバー人材センター

公益社団法人松浦市シルバー人材センター事業委員会（堤英雄委員長）が 12 月 22 日、松浦市役所、生涯学習センター、文化会館へ門松 3 対を寄贈しました。

同事業委員会は、新しい年を笑顔で迎えてほしいとの思いで、毎年門松を寄贈しています。

各施設に飾られた門松は、竹の先を斜めに切る「そぎ」が節の部分から切られ、にっこりとほほ笑んでいるように見えます。「笑う門には福来る」の意味合いを込め、福を呼び込めるようにと製作した会員らの願いが込められた門松は、市役所などを訪れる人たちを出迎えました。

